

問 1 (50 点)

【採点のポイント】

- ・ 「フジヤマ、スシ、ゲイシャ」のイメージから抜け出せないことの影響について、本文に即して答えられていること。

【解答例 1】

問題文にもあるように、日本は、北は北海道から南は沖縄までさまざまな地域があり、観光の潜在力は極めて高い。冬に雪が降る北海道は、南の国に住む人々には魅力的だし、沖縄のような南国はマリンスポーツになじみのない人々を大いに引きつけるはずである。日本には、北から南まで、その土地ごとに、観光資源が多様にある。それにも関わらず、日本の観光イメージが「フジヤマ、スシ、ゲイシャ」しかないとなると、地方にある観光資源に対して、外国人の関心が向かなくなる可能性がある。したがって、「フジヤマ、スシ、ゲイシャ」といったステレオタイプのイメージは、外国人観光客の日本への誘致に関してマイナスになると考える。(である調)

【解答例 2】

個人旅行者の増加にともなって、各地の食べ物やおもしろい体験などを、ブログや SNS 上で発信することが増えていると思います。こうした個人旅行者は、誰でも知っているような有名な観光地よりも、口コミでその良さが広がっていくような、珍しい場所を訪問することに魅力を感じているのではないのでしょうか。その場所でしか食べられないご当地グルメや、その場所でしかできない体験や交流ができる場所を訪問する傾向があると思います。日本の観光地について、「フジヤマ、スシ、ゲイシャ」といったイメージしかない、ステレオタイプの観光目的を持つ団体客をひきつけることはできるかもしれませんが、多様な価値観をもつ個人旅行者をひきつけることはできないと思います。(ですます調)

問 2 (50 点)

【採点のポイント】

- ・ 鹿児島県の魅力を地域・観光ブランドとして確立するための自分のアイデアが述べられていること。

【解答例 1】

私は、国内外の観光客に対して、もっと温泉をアピールするべきだと考える。温泉は外国人にとっても魅力的なのではないだろうか。鹿児島には指宿の砂蒸し温泉もあるし、霧島の温泉もある。それから、鹿児島市内にも銭湯が多数あるが、そのほとんどが天然温泉で、しかもさまざまな種類の温泉がある。しかし県外の有名な温泉地に比べて、鹿児島の温泉の知名度はあまりないのではないだろうか。

こうした多様な温泉を、各温泉地でばらばらにアピールするよりも、鹿児島県全体としてもっと売り出す必要があるのではないだろうか。温泉スタンプラリーなど、楽しみの要素を含めるこ

とも地域ブランドを高めることになると思う。(である調)

【解答例2】

鹿児島と言えば、明治維新を連想する人が多いのではないのでしょうか。西郷隆盛や大久保利通、島津斉彬など、明治維新に貢献した偉人が多くいると思います。私は、鹿児島のブランドを確立するためには、こうした歴史や人物を前面にだした方が良いのではないかと考えます。数年前に放送された篤姫を主人公としたテレビドラマが全国的な注目を浴びたのは、この点をよく表していると思います。

したがって、国内外の歴史ファンが喜ぶようなコースを作るべきだと思います。市内にある有名な石碑や銅像だけではなく、ほとんど誰も知らないような内容も含めて、歴史ファンが来て良かったと思えるような内容にしたら良いと思います。(ですます調)